

eco's 通信

2010
2月
vol.201

仕事の中に感動あり

1/18～1/23 中国電力(株)西郷発電所の分離層清掃作業を行った。福島課長はじめ3人の作業員で、工事を無事に施工することができた。

プロであるから安全施工は当然のことであるが、その陰には福島課長の熱い指導があったのだ。



KYミーティングで事前学習

工事完了後の福間社員がこう語った。「今回の工事では、福島課長の仕事の正確さに改めて感動しました」

「仕事の正確さ」それは何を指しているのか。

実は今回の工事は、5泊6日の泊り込み作業だった。いわばチーム4人による合宿みたいなものだった。そこで、福島課長は一計を案じ、宿泊先の夜の時間をフル活用したのだ。

「夜KYミーティングをやって、次の日の危険箇所や作業手順を徹底確認しました。その結果、翌朝からスムーズな作業に入ることができました。仕事に熟練していない若いスタッフには、危険防止上とても効果的だったようです」と福島課長は語る。

つまり、合宿形式という利点をうまく活かし、事前（前夜）に作業手順及び危険予知を徹底して学習する。これがスタッフの感動をよんだのだった。



福間社員



福島課長

合宿形式がチームワークを産む

「合宿」に関しては、新人の藤原社員には新鮮な感動があったようだ。

「普段は一人作業のため注意をしてもらうことが少ないが、この一週間はいろいろと作業上の注意を受け、これまで以上に安全に仕事ができるように思います」

彼は親元を1週間も離れたことがなかったという。たぶん緊張の連続であったに違いないのだが、みんなに気をつかってもらい心強かった、という。これも「合宿」によるチームワークの良さからくるものであろう。

これまで指示の出し方がうまくいかず、どうしたら正確に伝えられるのか悩んでいた矢田社員は、今回の経験でそれを学んだようだ。自信をもった矢田社員に、福島課長はこういう宿題を出した。

「次回から私はいないから、今回の作業手順をよく覚えて、自分なりの手順を確立し、的確な指示が出せるように」

さて、今回学んだことを活かせるのか？

彼らの感動ぶりを見ると、それは確かなもののように思えるのだ。

仕事の中に感動あり。素晴らしいことである。



藤原社員



矢田社員



『感動宣言』
おかげさまでエコス通信は二百号を迎えました。これを機に表紙頁はお客様や社員、さらには地域社会の感動話を掲載してまいります。弊社とお客様との間に生まれた「ちよつといい話」や「ふるえるような感動話」をお届けしていきたいと思っています。

お客様訪問

島根トヨタ自動車株式会社 様

〒690-0011 島根県松江市西津田1-7-24

TEL 0852-22-1115

FAX 0852-31-6100



プリウスの良さを見て、乗って、体感して！

島豊産業（株）相談役千原様の紹介で、田中専務様、藤原サービス次長様、石川サービス課長様から、島根トヨタ自動車様の今後の販売戦略や環境対応車であるハイブリットカー、プラグインハイブリッドなど自動車業界の流れを聞く機会を作ってくださいました。危機感を持って私たちの将来を考えなければなりません。

時代の先端をきって、ハイブリッド車を世に出し、それが今受け入れられていること。それがまさに社員の方々の自信となって、トヨタ自動車を支えているのだと感じます。

プリウスが登場して13年。発売当初、環境を意識した人だけが買うのでは？ いかに関心をもつ人を増やすかという、命題がありました。しかし、化石燃料の枯渇、京都議定書等により、世の中の環境に対する認識は格段に深まってきています。また、ガソリンの値上げという追い風もあり、ハイブリッド車は世の中に急速に受け入れられてきました。

アカデミー賞授賞式で、燃費が悪いリムジンより、環境にやさしいエコカーの方がかっこいいと、多数のスターがハイブリッド車など低燃費の乗用車で登場し、地球温暖化対策の重要性をアピールした経緯があります。プリウスはそんなステータスさえ感じられます。

環境対応車が受け入れられている昨今、私たちの事業がどうなるのか？ 非常に気がかりなところがありました。世の中の車が、ハイブリッド車や電気自動車にかわってしまったら・・・私たちの

ハイブリッド車、 独走の予感



島根トヨタ自動車様との懇談会の様子

求める廃油はどうなるのでしょうか。オイル交換のスパンは同じということで、ひとまず安心しました。しかし、私たちも時代に対応したものの（事業）を考えていかなければなりません。今、世の中はすごいスピードで変化しています。対応が後手にならないよう、常に情報をつかんでおくことが必要だと感じます。

今、トヨタ車は国内外で風当たりが強くなっています。そんな状況の中で、どのような展開を図っていくのか？ 物作りの旗手として、世界をリードする会社になって欲しいと思います。（長野）

一時的な流行ではなく、この先も益々、環境対応車やその電池、部品等の開発が進んでいくと思います。10 年前はリチウムイオン電池の世界シェアは日本がほぼ 100% だったそうですが中国や韓国のメーカーにおされ現在は 50% 程度まで落ちたそうです。ハイブリッドや電気自動車にしろ電池の技術が今後のキースキルで有ることは間違いありません。技術立国日本の正念場が来ていると感じました。（大國）

私は、この話を聞く前にもし完全に電気自動車になったら、どうなるだろうかと考えた。電気自動車になったら、車から出る廃棄物は何だろうか。廃油は出ない。LLC も出ない。廃エレメントも出ない。出るのは、廃タイヤだ。それと、分離槽清掃の仕事は、残る。廃タイヤは、今、S社などが収集し、チップにし、燃料としてO社に販売している。今のお客様と長くつきあうには今までしていなかった廃棄物の収集と処理も必要ではないだろうか。（山口）

今の時点で、電気自動車への急激な変化は技術的にも考え難く、HV車を経て、徐々に電気自動車に移行していくのではないかと。今は、収集先へのサービスをどこよりも優れたものにして、廃油収集量の安定化を図ることが重要であると思う。（安原）

変化は急激に訪れるかもしれないという危機感を持って、次の一手を考えなければならない。常に新鮮な情報を求め、時代の変化に敏感になろう。私たち山陰興業も常に進化するのだ。

島根トヨタ自動車様には滅多にない機会を作ってください、ありがとうございます。

工場NOW

地道なメンテナンスが会社を守る

土曜日は工場のメンテナンス日。今回は、遠心分離機の分解掃除の日。

遠心力で機械内部にスラッジが堆積するので、分解掃除することにより、安定した生産ができるようメンテナンスを行う。製造工程で、主になる設備であり、当社製品の品質を保つために必要な作業だと認識しており、やりがいを感じる。

きれいな状態になると、機械の音がかわってきて、静かになる。また、原料が廃油なので、きれいにすることは大変気持ちいい。

機械の分解掃除後、組み立て設置も、大変神経をつかう。機械は精度が高く、分解した案内筒は垂直に設置しなければならない。何回も調整して完了となる。



月曜日からの生産も安心して出来るし、お客様にも自信をもって再生燃料油をご提供できる。

(伊達山)

安全講習

経験することが命を救う

実際に救急救命処置を行った経験がある、河上部長を講師に、救急救命講習を行った。

傷病者を発見したら・・・

反応を確認する。

助けを呼ぶ。

気道の確保。

呼吸の確認

人工呼吸（2回）と胸骨圧迫30回を繰り返す。

胸の真ん中を、重ねた両手で強く、速く、絶え間なく圧迫する。ひじを伸ばして、手の付け根部分に体重をかけ垂直に強く圧迫する。

傷病者に出血や感染防護具をもっていないなどにより口対口人工呼吸がためられる場合には、人工呼吸を省略し、すぐに胸骨圧迫をする。

AEDが届いたら、音声メッセージにしたがって、使用する。また、傷病者を発見したとき、自分ひとりしかないときは、まず自分で119番通報し、そして大きな声で助けを求める。

このような救急救命処置は何度も講習を受けて、身体で覚えることが大事です。発見者があわてずに上記のような処置ができるよう、訓練を積んでいきたい。

(長野)



丹頂鶴が松江市近郊の田んぼにやってきました。

消防音楽隊 発足30周年記念演奏会 感動で身体が震えた！！



隊員の皆さんの30年の思いがこもった演奏です。

「昭和54年に発足。ほとんどが楽器を持ったことが無い隊員たちであったが、いろいろなかたたちのサポートにより、ここまでやってこれた。演奏活動を通じて、広く地域住民と接することにより、音楽を通じての火災予防の推進のための広報活動をしている。皆さんの意識向上に役立てばうれしい」と、林南消防署長から、謝辞が述べられた。

勤務のかたわらの練習で、大変だったことでしょう。しかし、チームワーク抜群で、素晴らしい演奏でした。特に、海猿のテーマ音楽は、力強く感動しました。聴いて、観て、楽しく、演奏の合間の火災予防のPRもバッチリ。

今後も、地域に愛され、親しまれる音楽を聴かせてください！！

(長野)



女性だけのカルテットで華やかに。 ひつがっこ音楽隊も参加。

一斉清掃の実施

「掃除をすると心が磨かれる」

心を磨くには、とりあえず、目の前に見えるものを磨き、きれいにする。とくに、人のいやがるトイレ掃除を永年続けていると、知らず知らずのうちに自分の心も浄化され磨かれるようになります。掃除をしているときは、いつもきれいな気持ちで取り組んでいることが多いようです。（「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」鍵山秀三郎著より）

毎月毎月、構内がきれいになっています。いつもきれいな状態で、ゴミを捨てたくなるような環境にしていきたいです。（長野）



分離槽も定期的に掃除され、汚泥も大変少なくなりました。

元氣の出る言葉

中村天風師

出世する人、成功する人は、その心の
内容が極めて積極的である

（「君に成功を贈る」より、日本経営合理化協会刊）

価値高い人生に生きようとするならば、何をあいても、どんな場合でも、自分の心をへこたれさせずにはいけないのだ。
心をへこたれさせると、消極的な状態になってしまう。
心の持ち方一つで、人生の運命を決定することになる。
後ろ向きになってはならない。いつも前向きに前進するのだ。
また、プラス思考で物事を考えよう。
自然と道は開けてくると思う。

（長野）



「君に成功を贈る」を読んで

この本に書かれている言葉には消極的な言葉が使われていません。プラスの発想で常に物事を考える姿勢がかかれています。

ほんの少し考え方を变えるだけで物事をスムーズにはこぶことができるということを教えてくれます。

毎日同じような生活を送っていると、今の状況を「普通」として考え、突然、予想外のことが起きると、よくない方へ考えが偏ってしまいがちです。そんな時こそ、この本を広げ、ちょっと立ち止まって考えてみたいと思います。（榎並）

新入社員紹介

清水さん



趣味：釣り、ドライブ

特技：野球、バスケット

当社を志望した理由：

清掃作業の仕事をしてみたいと思った。
タンクの中がどういうふうになっているかまた、どういう作業かやってみたい。

入社して思ったこと：

以前、自分がやっていた仕事とはまったく違って、やりがいを感じる。
自分は車の運転が好きなので現場へ行くのが楽しい。

自己PR：健康に自信があります。最近はずっと風邪をひきません。

今後は、人の役に立つ人になりたいと思う。よろしくお願いします。



枇杷の花。結実は6月頃ですが、花は今頃咲きます。

心に響く詩 「おかあさん」 山田康文

ごめんなさいね おかあさん
ごめんなさいね おかあさん

ぼくが生まれて ごめんなさい
ぼくを背負う おかあさんの
細いうなじに ぼくはいう

ぼくさえ 生まれなかったら
かあさんの しらがもなかったらうね
大きくなった このぼくを
背負って歩く 悲しさも
「かたわな子だね」とふりかえる
つめたい視線に 泣くことも

ぼくさえ 生まれなかったら

ありがとう おかあさん
ありがとう おかあさん

おかあさんが いるかぎり
ぼくは生きていくのです
脳性マヒを 生きていく

やさしさこそが 大切で
悲しさこそが 美しい

そんな 人の生き方を
教えてくれた おかあさん
おかあさん
あなたがそこに いるかぎり



生涯で初めての詩を書いた康文君は、この詩を書いた二ヵ月後に天国へ逝った。＜合掌＞

致知出版「心に響く小さな5つの物語」より抜粋

編集後記

松江城を国宝にしようとする機運が高まっている。松江城開府400年祭が行われており、市民の関心も高く、よいタイミングである。天守が現存する12城のうち、姫路、松本、犬山、彦根の4城が国宝に指定され、松江城など8城は重文だそう。松江城境界は四季折々の楽しみがある。春には桜の花見、夏には天守閣に登って涼風に吹かれ、秋には銀杏や胡桃拾い、冬には椿谷で椿や梅の花を楽しんだものだ。それだけ市民には愛着がある。松江は、京都、奈良と共に国際文化観光都市である。その名に恥じないよう、文化財等を大切に守っていかなければならない。

発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

社長が薦める今月の一冊

働き方

稲盛和夫著 三笠書房刊



稲盛会長は、私が最も尊敬する経営者です。この本の主旨からは離れますが、ファインセラミックスを焼成するときの描写に「高温の世界では、炎は赤色ではなく、まばゆい白色をしています」とあります。

私たちが作っている再生油も、完全燃焼すると白色に輝きます。先日C社さんの燃焼テストの際、のぞき窓から見た炎の色が、白色に近い赤色でした。瞬間、私はこのテストは成功する確信を持ちました。なぜならもっと微調整すれば、完全燃焼し、白色に輝きます。

私は「炎には生命(いのち)が宿る」と信じています。私たちの社員一人一人が、1リッターずつ集めた使用済みの潤滑油を精製し、国産の燃料を作る。お客さまのボイラーで、白色に燃焼し高压の蒸気になる。燃えた命がお客さまのご繁栄のお手伝いをする。

私たちは、エコ燃料製造会社から進化し、完全燃焼させ、もっと熱効率を上げ、地域のお客さまの省エネルギーに貢献するエネルギーサポート会社になります。私たちは地域の環境に、もっと優しい会社になります。(山根)

蔵書新着状況

・バグジ-流動動経営『ひとり光るみんな光る』

久保華園八

到知出版社

・まんが中村天風2

木村直巳

講談社

・自動車新世紀勝者の条件

日本経済新聞社

・百年企業 生き残るヒント

久保章市

角川SSC新書

・坂の上の雲一・二

司馬遼太郎

文春文庫

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、安来市産いちごです。締切は2月末です。奮ってご応募ください。



Q：国宝指定を目指す運動が展開されている 松江城の別名は？

先月号の答えは「102号」でした。抽選の結果、倉吉市杉本様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙（答）

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。